

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 山田実奈
所属 (School) 地域保健学域 教育福祉学類
学年 (Grade) 3

留学先 (Name of overseas institution)
王立プノンペン大学 (カンボジア)
留学期間 (study abroad period)
2019/2/13~2019/2/19

記入日 (Date) 2019/3/4

留学レポート Study Abroad Report

私がカンボジアを訪れるのは今回で2度目でした。今回の研修では、カンボジアの社会問題を解決するワークを行い、課題を見つけ解決策を提案する作業でしたが、研修を通して、カンボジアという国の魅力的な部分も改めて再発見できたのではないかと感じました。今回は、ボランティアでカンボジアのシェムリアップを訪れましたが、その際に印象に残ったことは、現地の人同士のつながりが強く、明るくとてもフレンドリーだと感じられたことです。今回の研修ではField Tripに行ったとき、カンボジア人学生の方々と街の人々が親しく話していたことが印象に残りました。もちろん、これは単純に日本とカンボジアの「国の違い」ということではなく、カンボジアの方々にも比較的フレンドリーな人もそうでない人もいます。日本人を考へても、誰とでも親しくコミュニケーションをとる人もそうでない人ももちろんいます。どちらが良いとも悪いとも思いませんが、「発展途上国」であるカンボジアでは多くの社会的課題が見つけられる中、活気やエネルギーにあふれる現地の人々や街を実際に拝見することができたのではないかと思います。

同時に、私たちが直接関わった学生さんたちは、王立プノンペン大学に通う一部の大学生の方であり、カンボジア国内全体の割合で考えると、さらにほんの一部であると思います。国内の大学進学率が約5%であることを伺い、大学に通っている学生がカンボジアでは多数派ではないことも改めて実感しました。この点も踏まえて研修に臨めたことは良かったのではないかと思います。

自分自身の研修中を振り返っても、王立プノンペン大学の学生さん達やホテルや空港で出会った方々、その他多くの方と積極的にコミュニケーションをとれたことは良かったと思います。カンボジアの学生さんに対しては、大学生活がどのようなものかという質問から、休みの日はどのようにして過ごすのか、ホームタウンの様子や家族観、食事などの文化、今までの学校生活、将来の展望などについてもたくさん話し、文化交流ができたと思います。加えて、一緒に参加した日本人学生とも、毎日行ったワークを通して感じたことや学んだこと、自分自身が抱いた葛藤などを共有し、気づきを整理することができました。



